2014 年 1 月 12 日

日本語／日本語教育研究会　第２回　チュートリアル

コーパスを使う

昨年に引き続き、本年も、チュートリアルを開催します。このチュートリアルは、最終的に研究会・学会等で研究発表（ポスター発表）を行うことを目指し、そのための具体的な研究方法を身につけるための講習会です。

参加費用は無料ですが、本研究会の会員でなければ参加できません。非会員の方は、当日を含めて、入会をお願いします。

■チュートリアルの内容

目標：　コーパスを使って、検索をし、その結果を分析するための基礎的なリテラシーをつけることを目標とします。２日間にわたり、「初級コース」と「中級コース」に分けて行います。参加者は無線 LAN が搭載されたノートパソコンを持参してください。

日時：　2014 年 2 月 13 日（木）、14 日（金）＜時間は後日お知らせします＞

場所：　一橋大学　国際研究館（東京都国立市中 2-1）

http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html（44 番の建物）

- **初級コース（25 名）　講師：永谷直子（一橋大学大学院博士課程）**

・ファイルの種類
・コーパスを作る
・テキストファイルを検索する（１）―GREP、KWIC―
・テキストファイルを検索する（２）―茶まめ―
・検索結果を集計する―フィルターとピボットテーブル―

- **中級コース（20 名）　講師：宮部真由美（一橋大学大学院博士課程）**

・コーパスを作る
・現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）を検索する―中納言―
・検索結果を検定する（１）―カイ二乗検定―
・検索結果を検定する（２）― t 検定、分散分析―

● **コーパスを使った研究論文の書き方（両コース共通）… 論文は**こちらで用意します。

講師：庵　功雄（一橋大学国際教育センター教授）

庵功雄(1995)「ガ～シタイとヲ～シタイ：格標示のゆれに関する一考察」『日本語教育』86 号、pp.52-64（2 月 13 日分）
（http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/17725）

庵功雄・宮部真由美(2013)「二字漢語動名詞の使用実態に関する報告―「中納言」を用いて―」『一橋大学国際教育センター紀要』4 号、pp.97-108（2 月 14 日分）

■参加日程・コースの選択について

チュートリアルは２日間行ないますが、１日のみの参加でもかまいませんし、両日参加することも可能です。また、両日参加する場合、コースの選択の方法は自由です。

ただし、会場の事情により、受講人数に制限がありますので、ご希望に添えない場合もありますことをご了承ください。

２日間参加の場合		初日	２日目
両日で異なるコースを受講	例１	初級コース	中級コース
	例２	中級コース	初級コース
両日とも同じコースを受講	例３	初級コース	初級コース
	例４	中級コース	中級コース

■参加の準備

① 参加者は、PC を持参し、原則として各自でネット環境を整えること（例えば、WiMAX 搭載 PC を持っている人は、事前に「１日利用プラン」の手続きを済ませる、など）。なお、自分でネット環境を整えることが難しい人は相談してください。

② 国立国語研究所の中納言（BCCWJ の検索ツール）の使用登録を済ませておくこと。

③ 以下のサイトから「茶まめ」をインストールしておくこと。

「茶まめ」　http://sourceforge.jp/projects/unidic/のサイトから unidic-mecab-2.1.2_windows.exe というファイルをダウンロードして、インストールする。

④ Excel2007 以上が使えるようにしておいてください。（2003 は不可）

⑤ 中級コースに参加を希望する人は次のサイトから SPSS のトライアル版をダウンロードしてインストールしておくこと（1 月 16 日以降にインストールしてください）。
http://www-03.ibm.com/software/products/en/spss-stats-base

■申し込み方法　…　先着順に受け付けます。

（１）下記まで、メールで申し込んでください。（ご質問なども、こちらまでお願いします。）

総務委員アドレス　nichinichiml@gmail.com

（２）申し込みの際、以下の情報をお知らせください。

① 氏名（ふりがな）
② 所属
③ 会員か非会員か
④ メール・アドレス
⑤ 参加希望コース（第一希望・第二希望まで）：　下記Ａ～Ｈの中から選択。
⑥ その他、特に伝えたい事項がありましたら、お知らせください。

		２月 13 日（木）	２月 14 日（金）
１日のみ参加	A	初級コース	
	B		初級コース
	C	中級コース	
	D		中級コース
両日で異なるコースを受講	E	初級コース	中級コース
	F	中級コース	初級コース
両日とも同じコースを受講	G	初級コース	初級コース
	H	中級コース	中級コース

■チュートリアル終了後

チュートリアルの後、各自テーマを定め、研究を進めて、４月末までに、研究成果をまとめた報告書を提出していただきます（Ａ４版用紙１～２枚程度）。報告書は、「どのようなテーマを選んだか」「そのためにどのようなデータを使用・収集し、どのような結果が出る見込みであるか」を報告していただくものであって、研究の途中段階の報告でかまいません。報告書に対しては、本研究会より何らかのコメントを送ります。

そのコメント等を参考に、さらに各自で研究を進め、最終的に、6 月 30 日締め切りの、日本語／日本語教育研究会・第６回大会（9 月 28 日（日）開催予定）の「ポスター発表」または「口頭発表」の部に、全員、応募してください（「口頭発表」が不採用だった場合は「ポスター発表」を行うことを選択してください）。あるいは、5 月下旬締め切りの、日本語教育学会・秋季大会（富山国際会議場）などに応募するのでも構いません。

みなさまのご参加をお待ちしています！